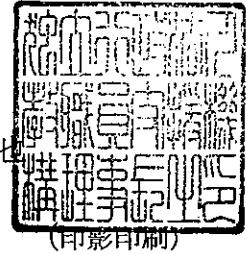


独教事研第26号
平成30年3月5日

各都道府県知事殿

独立行政法人教職員支援機構
理事長 高岡 信 七



平成30年教育相談指導者養成研修の実施について（依頼）

平素より、教職員支援機構の研修事業に御協力いただき、誠にありがとうございます。

さて、平成30年度の標記研修につきましては、別添実施要項のとおり実施いたしますので、貴管下の私立学校に御周知いただきますようお願いいたします。

については、推薦がある場合は、別添の実施要項中「7 受講者（4）推薦手続」のとおり、貴管下の私立学校分を取りまとめの上、様式1「推薦名簿」を平成30年4月20日（金）までに、電子メールにて、事業部研修事業課宛てに御提出ください。実施要項、推薦名簿等は、当機構ホームページ（<http://www.nits.go.jp/training/002/004.html>）よりダウンロード可能となっております。

なお、本研修は、各地域において、本研修内容を踏まえた研修の講師等としての活動や、各学校への指導・助言等が受講者により行われることを目的としております。推薦にあたっては、本研修の目的を御理解の上、適切な方を御推薦いただくとともに、受講者の成果活用に御配慮いただきますよう、よろしく申し上げます。受講者には、研修終了1年後に成果活用状況について調査することとしております。



問合せ先

独立行政法人教職員支援機構

事業部研修事業課

目見田・小國

TEL:029-879-6983・6974

FAX:029-879-6645

e-mail: kk2@ml.nits.go.jp

平成30年度教育相談指導者養成研修実施要項

1 目 的

いじめ、不登校、暴力行為など生徒指導上の諸問題は、依然として憂慮すべき状況にある。さらに、虐待や貧困など新しい形の問題が顕在化し、生徒指導上の問題は一層多様化、深刻化している。これらの問題に適切に対応するためには、教員個人が問題を抱え込むことなく、「チーム学校」の観点から学校全体で組織的に取り組むことや、外部機関や家庭、地域との連携・協働を促進して、効果的に教育相談を推進することが求められている。

本研修では、「チーム学校」として組織的な教育相談体制を構築し、効果的に教育相談を実践する力を高め、教育相談の組織的な取組みをマネジメントする力を身に付けて、各地域において本研修内容を踏まえた研修の講師等としての活動や各学校への指導・助言等を行うことのできる指導者の養成を図ることを目的とする。

2 主 催 独立行政法人教職員支援機構

3 共 催 文部科学省

4 期 間 平成30年6月11日（月）～平成30年6月14日（木）

5 会 場 独立行政法人教職員支援機構 つくば本部
〒305-0802 茨城県つくば市立原3番地

6 定 員 60名（3ユニット）

7 受講者

（1）受講資格

- ① 各都道府県・指定都市・中核市教育委員会の指導主事及び教育センターの研修担当主事並びにこれに準じる者。
- ② 幼稚園、小学校、中学校、義務教育学校、高等学校、中等教育学校及び特別支援学校の教職員であって、各学校や地域における本研修の内容を踏まえた研修のマネジメントを推進する指導者としての活動を行う者。
- ③ 当機構の修了証書をもって単位認定を行う（予定を含む）教職大学院の学生。

（2）推薦人数

各都道府県（中核市分を含む）及び各指定都市においては1名程度とする。

（3）健康状況の確認

1週間程度の宿泊研修となるため、宿泊研修に耐え得る健康状況の者を推薦するよう御配慮願いたい。

（4）推薦手続

推薦期限は、平成30年4月20日（金）とする。

各都道府県・指定都市教育委員会においては推薦者を取りまとめ、「研修情報登録システム」により推薦を行う。

中核市教育委員会においては、[様式1]により都道府県教育委員会に連絡し、都道府県教育委員会が「研修情報登録システム」により推薦を行う。

私立学校においては、都道府県知事部局に連絡し、都道府県知事部局が、教職員支援機構（電子メール「kk2@ml.nits.go.jp」）宛てに、[様式1]により推薦を行う。

国立大学法人及び独立行政法人国立青少年教育振興機構については、各機関の担当部局が取りまとめの上、教職員支援機構（電子メール「kk2@ml.nits.go.jp」）宛てに、[様式1]により推薦を行う。

(5) 受講者の決定

各都道府県・指定都市教育委員会等からの推薦に基づき、教職員支援機構が決定し通知する。定員を超過する場合は、受講者数を調整する場合がある。

8 研修内容

別紙1「日程表」のとおりとする。

なお、演習や協議については、20名程度のユニットを基本として取り組む。

※ユニットについて

研修効果を高めるために、課題の発見・解決に向けた主体的・協働的な演習や協議をより多く取り入れ、すべての受講者が積極的に発言し思考を深めることができるよう、20名程度のユニットを構成して研修を行う。

9 その他

- (1) 所定の課程を修了した者には、修了証書を授与する。受講者推薦の際に、必ず受講者の氏名を確認し、正確に記入すること。
- (2) 本研修は、原則として宿泊研修とし、教職員支援機構の宿泊施設を利用するものとする。
- (3) 本研修終了時に受講者アンケート等を行う。また、研修終了から一定期間（約1年）経過後に、研修成果の活用について、受講者に対するアンケート調査を行う。

平成30年度教育相談指導者養成研修日程表

8:30	9:00	9:30	10:10	10:30	10:45	12:15	13:15	14:45	15:00	16:30	16:40	17:00
第 1 日		受付	オリエンテーション	開講式	休憩	講義 『「チーム学校」の構築と教育相談」 文部科学省	屋食・休憩	講義 「教育相談に関するマネジメントの推進」 ～マネジメントの効果的な進め方を学ぶ～	休憩	講義 「教育相談に関するマネジメントの推進」 ～マネジメントの効果的な進め方を学ぶ～	休憩・準備	リフレッシュ
第 2 日	準備・休憩 ユニットミーティング①	講義 「教育相談の効果的な実践(1)」 ～教育相談の理論と実践を学ぶ～	休憩	講義 「教育相談の効果的な実践(2)」 ～教育相談の理論と実践を学ぶ～	屋食・休憩	講義・演習 「教育相談の効果的な実践(3)」 ～具体的な手立ての方策を考える～	休憩	講義・演習 「教育相談の効果的な実践(4)」 ～具体的な手立ての方策を考える～	休憩・準備	リフレッシュ		
第 3 日	準備・休憩 ユニットミーティング②	講義・事例発表 『「チーム学校」の構築(1)(2)」 ～実践事例から学ぶ～ 専門スタッフの参画①②③				屋食・休憩	講義・演習 『「チーム学校」の構築(3)」 ～チーム体制の構築を考える～	休憩	講義・演習 『「チーム学校」の構築(4)」 ～チーム体制の構築を考える～	休憩・準備	リフレッシュ	
第 4 日	準備・休憩 ユニットミーティング③	講義 「不登校児童・生徒の支援と教育相談」	休憩	講義 「特別支援教育と教育相談」	閉講式							
8:30	9:00	9:30	10:10	10:30	10:45	12:15	12:30					